

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：

婦人科臓器原発癌肉腫の化学療法における予後因子に関する研究

・目的：

埼玉医科大学国際医療センターならびに国立がん研究センター中央病院で診療を受けた子宮癌肉腫の約150例について、後方視的に生年月日、診断、診断日、手術日、病理診断、治療開始日、コース数、臨床的効果、腫瘍マーカー、病理学的効果、副作用発現状況、再発日または病状増悪日、再発部位、再発後の治療、効果、転帰などを調査し、無増悪生存期間、全生存期間、予後に関わる因子などについて検討する。

また、本研究の目的は得られた結果をもって、希少疾患である子宮癌肉腫に対する治療開発のための新たな資料とすることである。

・研究期間：臨床研究IRB承認日～2020年2月7日

・研究対象：1998年1月1日～2017年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目：

後方視的検討であり、新たな試料等は用いない。診療録より生年月日、診断、診断日、手術日、病理診断、治療開始日、コース数、臨床的効果、腫瘍マーカー、病理学的効果、副作用発現状況、再発日または病状増悪日、再発部位、再発後の治療、効果、転帰などについて調査する。

③ 利用する者の範囲：

埼玉医科大学国際医療センター	婦人科腫瘍科	西川忠暁、長谷川幸清、藤原恵一
国立がん研究センター中央病院	乳腺腫瘍内科	西川忠暁、米盛勸
国立がん研究センター中央病院	先端医療科	江畑貴大

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 助教 西川忠暁